

第5期 せきららせミ (秋学期)



第5期 せきららせミ 秋学期

コロナ禍でできなかった
あんなことやこんなこと…
今こそ関市でやろう

関で見つける、
関からはじまる

2022年9月15日 | 木曜日

9月16日 | 金曜日

8:30～17:30

今年のテーマは、

挑戦 × 地域おこし

関市のまちづくりに関心のある
学生の皆さんぜひご参加ください！

【開催概要】

▼ 日程

令和4年9月15日（木）～ 16日（金）

▼ 場所

関市東西エリア

▼ 参加費

2,000円

▼ 定員

8名 → 4名参加

▼ タイムスケジュール

15日 (木) DAY 1	【コロナ禍で挑戦を選んだ関の東側の人（じん）と出会う】 8:30 関市役所集合、オリエンテーション 9:30 2030 SDG s カードゲーム タイム 11:30 八滝ウッディランドで里山BBQランチタイム ゲスト：東山國男さん、村上二郎さん 15:30 そばのカフェおくどでソーシャルティータイム ゲスト：中林亜生さん、林奏里さん 17:30 DAY 1 終了
16日 (金) DAY 2	【地域おこしに励む関の西側の人（じん）と出会う】 8:30 関市役所集合 9:30 モネの池、株杉 散策タイム ゲスト：小林佐富朗さん 12:00 「お食事処 味女」でせきららランチタイム 13:00 クラフトタイム「せきらら貯金箱を作ろう！」 ゲスト：森下昭夫さん 14:30 武芸八幡宮 散策タイム ゲスト：武内亜美さん、恩田正明さん 16:00 せきらら回想タイム 17:30 DAY 2 終了

COORDINATOR

地域商社「いなかだから」

江坂 侑 Yu Esaka

せきららゼミ コーディネーター



DAY 1 『コロナ禍で挑戦を選んだ
関の東側の人(じん)と出会う』

2030 SDG s カードゲーム in 武儀生涯学習センター

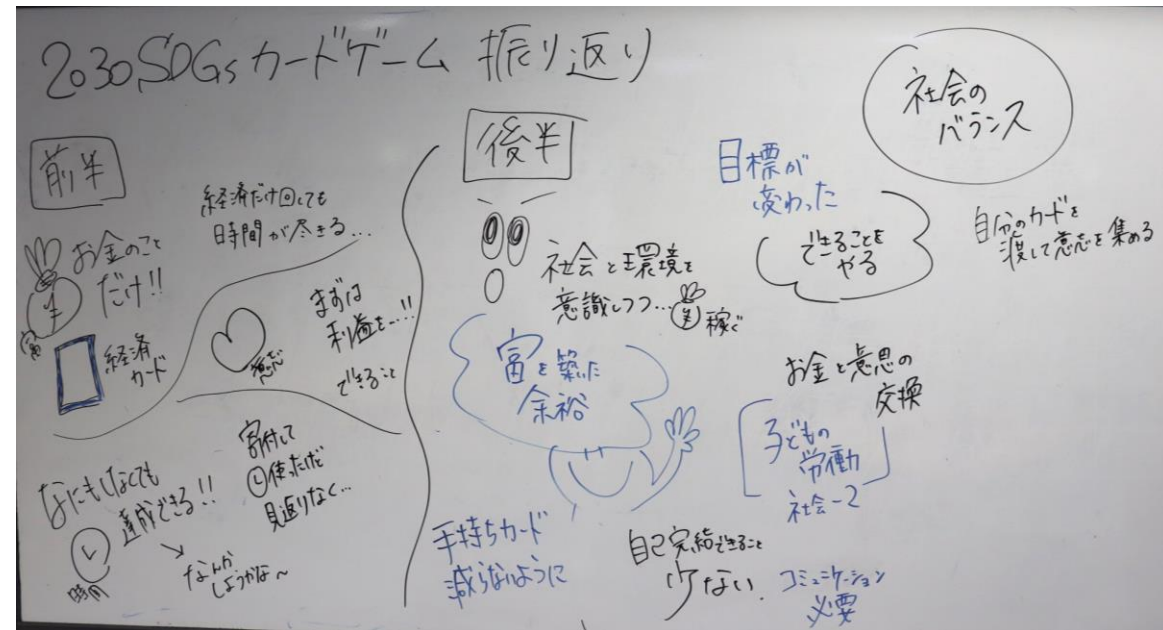
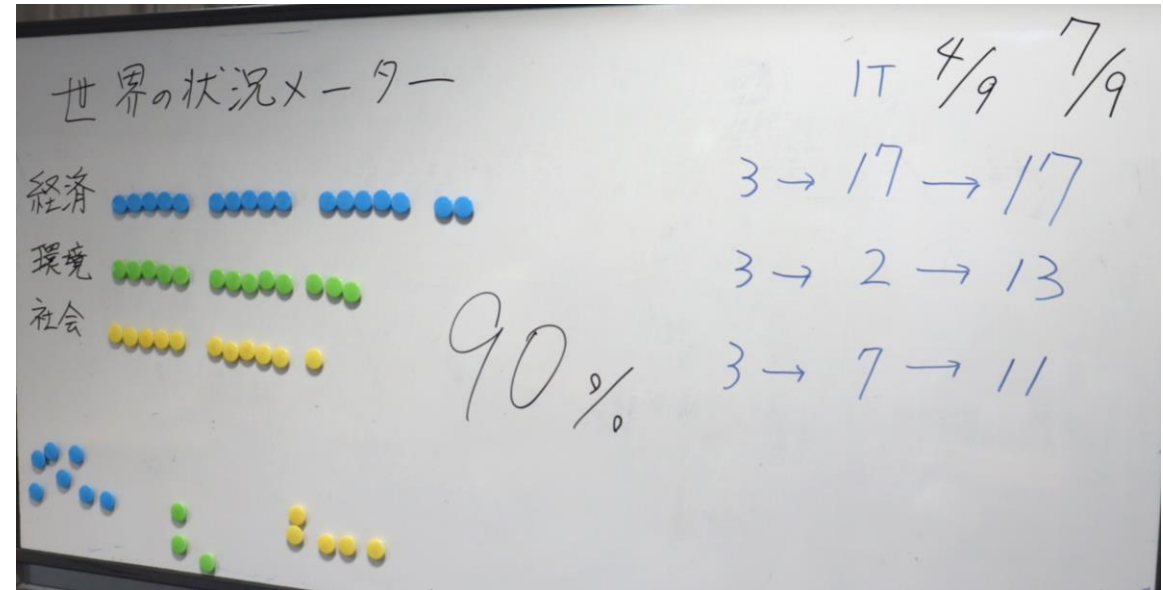
SDG s の世界を
カードゲームを通して体感！



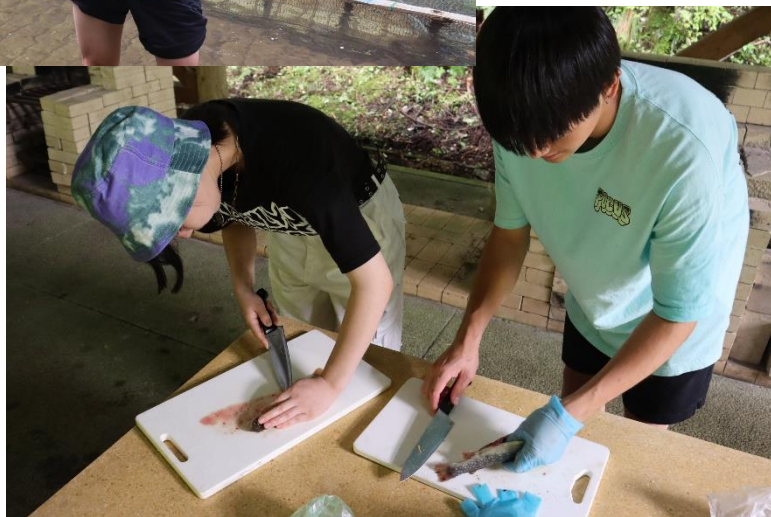
様々な**価値観**や違う**目標**を持つ人がいる中で、
SDG s の壮大なビジョンを達成するためには
自分は**どう行動すればいいのか** ??



ゲームの結果を振り返りながら
自身の行動・心境の変化について語り合い
過去の自分・将来の自分と向き合いました



里山BBQランチ in 八滝ウッディランド



川魚、原木椎茸を自分たちで調達しました
BBQの準備が整ったら
里山の恵みに感謝して、いただきます♪

GUEST

八滝ウッディランド

東山 國男 Kunio Higashiyama

八滝ウッディランドで一番えらいじん



26鹿肉ワンダーランド

村上 二郎 Jiro Murakami

元カレー屋ハンター（猟師）



コロナ禍でも活躍し続けた関の人(じん)

とのせきららトークセッション



これからの関市との関わり方

自分の将来について考えます

ソーシャルティータイム in そばのカフェおくど



先輩ゼミ生たちの痕跡に思いを馳せながら
パッションフルーツサイダーをいただきました



GUEST

そばのカフェおくと

中林 亜生 Ao Nakabayashi

耕すシェフ



みのカフェmanaka

林 奏里 Kanari Hayashi

美濃のカフェmanakaの看板娘



新型コロナウイルスの影響により、自身の運命が大きく変化した2人
年齢の近い彼らが語る言葉は、ゼミ生の胸に深く刺さっている様子でした



パッションフルーツ畑で収穫体験をしてDAY 1 は終了しました

DAY 2 『地域おこしに励む
関の西側の人(じん)と出会う』

モネの池、株杉の森散策 in 板取



GUEST

フラワーパーク板取

小林 佐富朗 Saburo Kobayashi

モネの池の一番近くで仕事するじん





モネの池が観光地化された**経緯**や

観光地となったことで生まれた**苦勞**など

1番近くで働く小林さんの“**せきらら**”なお話を聞きました



板取の21世紀の森公園にある

株杉の成り立ちの説明を受けながら散策をし

自然の力を体いっぱいに感じました

せきららランチタイム in 板取



お食事処 味女でせきららランチ！

なんとなぎも食べることができて大満足でした！

せきらら貯金箱をつくろう！ in 洞戸ふれあいセンター



GUEST

きこりの店

森下 昭夫 Akio Morishita

きこりの店 木工職人





鍵がいない**カラクリ貯金箱**を作成しました

箱の開け方を知っているのは第5期のゼミ生のみ！？

里山や木材の歴史、自分と里山の関係に思いを馳せながらクラフトしました

武芸八幡宮散策 in 武芸川



GUEST

「まち肌屋」ライター

武内 亜美 Ami Takeuchi

第4期せきららゼミ卒業生



武芸八幡宮ナビゲーター

恩田 正明 Masaaki Onda

武芸八幡宮愛120%超の地元じん



先輩ゼミ生のナビゲートで
武芸八幡宮を散策しました

武芸八幡宮の**歴史**や**神秘**を
耳で聴き、目で見て、肌で感じました



せきらら回想タイム



この2日間を回想しながら
自分自身の**気づき・感想**を
せきららに語りました。



今回のせきららゼミでは「**人**」についての気づきが一番大きかった。
普段の生活では関われないような人とも**つながる**ことができたから、
このつながりを大切にしていきたい。

せきららゼミで出会った人は**みんな輝いて見えた**。

自分は正直働いても働かなくてもどっちでもいいと思っていたが、
早く働きたいと思えるきっかけになった。

現在就職活動をしているが、自分のやりたいことが見つかっていない。

何でもチャレンジしてみようと思いせきららゼミに参加した。

そんなに**失敗を恐れなくてもいい**のかなと思った。

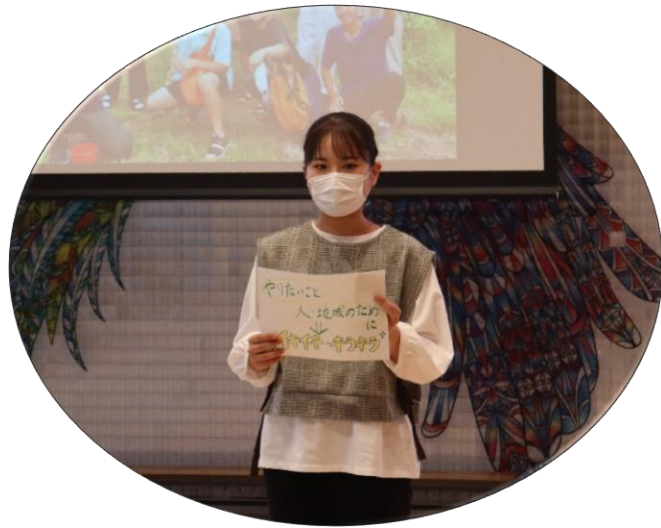
まだ失敗を恐れる気持ちはあるが、

自分の興味がある方向に進んでいきたい。



SDG s カードゲームが特に印象に残っている。

ゲームの世界と現在の関市を重ねてみることができた。



生まれ育った関市のことを**もっと知りたい**という思いから参加した。

出会った人は全員「**イキイキ**」「**キラキラ**」していた

自分が**やってて楽しい**、**幸せ**だと思えることを仕事にしたい。

大自然に触れて、改めて**自分は自然が好きだ**ということに気づいた。

これからも色々なことを経験して、**自分の好きなことを追求**したいし、

自然に触れていきたいと思う。

自分の**好きなこと**や**自由な仕事**に就きたいと思ったとき、
職業選択だけでなく、**ロケーションも大事**だと気づいた。



いま関市で活躍している人がいる、関市が選ばれているということは

関市にはそれだけの魅力があるということだと思う。

そんな関市の魅力に惹かれた人が、関市を発展させていくと思う。

自分は**意見のない人間**だが、これからは**自分のやりたいこと**を大切にしていきたい。

そして、自分だけじゃなく、**周りの人・地域**に還元していきたい。



せきららゼミ最後の寄せ書きタイム

2日間共に過ごした仲間に対し、
楽しかったこと・感謝の気持ち・応援の言葉 など

それぞれ思い思いの言葉を相手に送ります。

また関市のどこかで出会えることを願って・・・



第5期せきららせミ

（秋学期）



完結